

平成 28 年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書
(平成 27 年度事業)

くらしの中に図書館を
—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 28 年 9 月
日野市立図書館

目 次

| | | |
|------|------------------------|----|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | 評価の目的 | 1 |
| 3 | 図書館の現状 | 1 |
| | (1) 施設 | 1 |
| | (2) 組織・職員 | 2 |
| | (3) 主な業務 | 2 |
| 4 | 評価の実施方法 | 2 |
| 5 | 評価の対象 | 2 |
| 6 | 評価の結果 | 3 |
| 7 | 評価表 | 5 |
| 参考資料 | | |
| | I 図書館事業のあらまし | 25 |
| | II 日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱 | 35 |
| | III 図書館協議会委員名簿 | 36 |

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

| 施設の名称 | 延べ床面積 | 現館の開館日 | 所在地 | 蔵書数 |
|--------|----------------------|--------------|-------------------------|--------|
| 中央図書館 | 2,220 m ² | 昭和 48. 4. 28 | 豊田 2-49-2 | 313 千冊 |
| 移動図書館 | 1 台 (20 駐車場) | 昭和 40. 9. 21 | 同上 | 31 千冊 |
| 高幡図書館 | 1,358 m ² | 昭和 55. 5. 11 | 三沢 4-1-12 | 100 千冊 |
| 日野図書館 | 422 m ² | 昭和 55. 5. 18 | 日野本町 7-5-14 | 58 千冊 |
| 多摩平図書館 | 856 m ² | 平成 16. 4. 1 | 多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1 階 | 122 千冊 |
| 平山図書館 | 412 m ² | 平成 20. 4. 5 | 平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1 階 | 62 千冊 |
| 市政図書室 | 140 m ² | 昭和 52. 12. 1 | 神明 1-12-1 日野市役所 1 階 | 47 千冊 |
| 百草図書館 | 759 m ² | 平成 2. 11. 16 | 百草 204-1 ガーデンビュー石神 D2 階 | 72 千冊 |

(2) 組織・職員 ※平成 28 年 3 月 31 日現在

1 課 3 係（庶務・業務・奉仕）、6 分館
正規職員 32 人（うち司書 22 人）、
再任用職員 7 人（うち司書 5 人）
嘱託職員・臨時職員（週 30 時間換算） 30.4 人

(3) 主な業務

- ・図書館資料の収集、整理及び保存
- ・個人貸出、団体貸出
- ・読書案内及び読書相談
- ・レファレンス
- ・読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- ・館報その他の読書資料の発行及び頒布
- ・図書館資料の図書館間相互貸借
- ・市内の学校への資料提供と協力
- ・地方行政資料の収集及び提供

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、事業の説明会を実施しました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

「第 2 次日野市立図書館基本計画」の基本方針の下の重点的な取組みから抽出した、下記 11 事業について評価を行いました。

○基本方針 すべての市民が利用しやすい図書館をめざします

【図書館開設 50 周年記念事業】

【成人・高齢者サービス】

【乳幼児・小中学生サービス】

【青少年サービス】

【学校支援】

【障害者サービス】

【各館での取組み】

○基本方針 市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します

【資料の選択・収集】

【予約・リクエスト・相互貸借】

○基本方針 市民と資料・情報とを結びつけ、市民の暮らしを支援します

【レファレンスサービス】

○基本方針 地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます

【地域・行政資料（市政図書室）】

6 評価の結果

《図書館協議会の総括的意見》

平成27年度における日野市立図書館は、概ね適正かつ妥当な運営が行われてきた。しかしながら、ひとつひとつの事業は、幅広いサービスにわたり、数多く実施され効果を發揮しているにも拘らず、これらが広く一般市民に知られているとは言いがたい。今後は、市民への周知を広く図るための活動がより一層必要と思われる。

昨年は、日野市立図書館開設50周年を迎える、市主催の式典等を実施し、ひとつの節目を迎えていた。これらの過去の輝かしい伝統と実績を踏まえ、本年度から、また新しい歩みをすすめて行くことが期待される。ひとつの峠を越え、次の峠への一步を着実にし、新たな図書館の発展のため新しい時代の要請に応えるべく、現行事業の見直し改善を行い次の50年に向け踏み出すことを強く期待する。

図書館は、市民の資料要求に対し公的にこたえなければならない機関であり、本来であれば、図書費を初めとする予算的措置が厚くとられるべきものである。厳しい財政状況下にあることは理解するが、市政全体の中で対処され、円滑に図書館運営がなされることが望まれる。

《図書館の自己評価》

平成27年度は図書館開設50周年を迎えた様々なイベントを行いました。中でも記念式典では、浅田次郎氏の講演を開催し沢山の来場者の前で、これから図書館についてアピールすることができました。

子どもの読書活動の推進については、「第3次子ども読書活動推進計画」(計画期間は平成27年度から平成31年度までの5年間)を策定しました。今後はこの計画に基づき、子どもたち自らが、成長や興味に応じて本の楽しさを発見し、学び考え生きる力を育む機会を持てるよう、その環境の整備を進めています。また、本年度より本格的に導入(昨年度は試行実施)した、乳幼児連れの方が気軽に来館できる時間「ひよこタイム」により、同日に実施しているおはなし会の参加者の増加に繋がり、効果をあげることができます。

した。

施設整備の面では、百草図書館の空調更新工事を行い、快適な環境の整備をすることができました。工事期間中の約1か月休館しましたが、その間臨時窓口を設置し、返却本の受付や予約本の貸出を行ったり、近隣商店の駐車場を借りて移動図書館「ひまわり号」を巡回させるなど、サービスの維持に努めました。

その他、レファレンスサービス、テーマによる図書の展示やヤングスタッフによる青少年に向けた本の紹介など様々な取組みを行い、概ね成果をあげることができました。

昨年は図書館開設50周年という一つの区切りを迎えました。これから図書館がどうあるべきかを念頭に、多くの方々に利用してもらえるようなサービスを進めていくとともに、沢山の方々に日野の図書館を知ってもらえるよう情報の発信やPRに努めています。

今回の評価や意見を受けて、次年度以降も取組みを継続・充実させるとともに、課題の解決や改善に努め、「第2次日野市立図書館基本計画」の実現を進めています。

各事業における図書館の自己評価及び図書館協議会からいただいた評価・意見は、5ページ以降の評価表のとおりです。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

★図書館の目標

くらしの中に図書館を　　—市民に役立ち、共に歩む図書館—

★目指す図書館像(ビジョン)

- ①すべての市民が利用しやすい図書館をめざします。
- ②市民が求める本や資料・情報を収集・保存・提供します。
- ③市民と資料・情報を結びつけ、市民の暮らしを支援します。
- ④地域・行政資料を収集・保存・提供し、日野市の歴史を未来に伝えます。
- ⑤読みたい、調べたい、学びたいという市民を応援します。
- ⑥資料や情報を介して、地域の人と人との交流を促します。

★平成27年度主要事業

- (1)図書館開設50周年記念事業
 - ・記念式典、記念誌の刊行、図書館のあゆみパネル展、読書会、図書館まつり等を実施
- (2)第3次子ども読書活動推進計画の策定
 - ・策定委員会を設置、検討、パブリックコメント実施、計画策定
- (3)戦後70年平和事業の実施
 - ・戦後70年平和事業の一つとして、平和に関する図書の展示・貸出を各図書館で実施
- (4)乳幼児から青少年までの本に親しむ環境整備
 - ・乳幼児連れの方が気兼ねなく来館しやすい時間帯として「ひよこタイム」を実施
 - ・児童の読書活動と図書館利用を促進するために「読書パスポート」を配布
 - ・ヤングスタッフによる青少年に向けた本の紹介活動を推進
 - ・本を通して人との交流の機会となる読書会を実施

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

○事業項目(主要事業)

| | |
|-------------------------|-------|
| (1)図書館開設50周年記念事業 | |
| No.1 図書館開設50周年記念事業 | 7ページ |
| No.2 成人・高齢者サービス | 9ページ |
| No.3 各館での取組み(日野図書館) | 10ページ |
| (2)第3次子ども読書活動推進計画の策定 | |
| No.4 乳幼児・小中学生サービス | 11ページ |
| (3)戦後70年平和事業の実施 | |
| No.5 地域・行政資料(市政図書室) | 12ページ |
| (4)乳幼児から青少年までの本に親しむ環境整備 | |
| No.6 青少年サービス | 13ページ |
| No.7 学校支援 | 14ページ |
| No.8 資料の選択・収集 | 15ページ |
| No.9 各館での取組み(高幡図書館) | 16ページ |
| No.10 各館での取組み(多摩平図書館) | 17ページ |
| No.11 各館での取組み(平山図書館) | 18ページ |
| No.12 各館での取組み(移動図書館) | 19ページ |

○事業項目(通常業務)

| | |
|----------------------|-------|
| (5)通常業務 | |
| No.13 障害者サービス | 20ページ |
| No.14 予約・リクエスト・相互貸借 | 21ページ |
| No.15 レファレンスサービス | 22ページ |
| No.16 各館での取組み(中央図書館) | 23ページ |
| No.17 各館での取組み(百草図書館) | 24ページ |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|-----------|--|
| 事業項目 | No.1 図書館開設50周年記念事業 |
| 事業の概要 | 日野市立図書館開設50周年を記念して各種記念行事を実施し、今後も、市民に役立つ図書館運営をめざしていくことをアピールする。 |
| 事業の成果 | <ul style="list-style-type: none">・各種記念事業を実施し、どの事業も多くの市民に来場、参加してもらうことができた。・記念式典・講演では、ポスター1千枚、チラシ1万枚を作成、配布して大々的にPRを実施。おすすめの本紹介カード、図書館まつりでは、対象者を絞ってピンポイントでPRを行うなど、PRを大々的に行つた。【あゆみパネル展】平成26年11月から平成27年9月の間に、各図書館、市役所本庁で実施した。【キャラクター「のら」によるPR】ロゴマークを作成し、日限票に印刷してPRを実施した。また、ロゴや「のら」を印刷したクリアファイルやシール、スタンプを作成した。【読書会の開催】全6回の読書会を開催。全ての回においてほぼ20名が参加。読書会終了後、参加者の自主的な読書会が2つ発足した。【記念誌の発行】350部を作成し、関係機関等に送付した。【おすすめの本紹介カード募集・展示】公募したところ、紹介カードが約500枚集り、図書館まつりで展示した。【移動図書館「ひまわり号」おめでとうまつり】平成27年10月31日に明星大学の星友祭に移動図書館「ひまわり号」が参加した。・大学との連携、ヤングスタッフの協力など、各方面との連携で事業を実施した。・読書会やビブリオバトルは、本を通じて人と人をつなぐ企画として初めて開催。今後の図書館運営に参考となる企画となった。【記念式典と浅田次郎氏による記念講演】平成27年11月21日に開催、約1千人が来場した(応募者総数約3千人)。初代館長前川恒雄氏にも登壇いただき、歴史的な式典となった。浅田次郎氏の講演により、本を読むことの大切さを来場者に伝えることができた。【図書館まつり】平成27年11月23日に点字体験広場を中央図書館で、平成27年11月28日には音楽付朗読劇、アイリッシュハープ絵本コンサート、映画上映(図書館と子どもたち、スノーマン、くまの子ウーフ)、ビブリオバトル、各種展示をイオンホールで、リサイクル本の配布を多摩平の森ふれあい館で実施した。参加者数は、延べ人数で1千人を超えた。 |
| 図書館協議会の意見 | <ul style="list-style-type: none">・様々な記念行事を関係者・ボランティアを含め成功したことを大いに評価する。・日野市が全国へ誇れる「図書館活動」を忘れずにいろいろ工夫し、ユニークさをPRしてほしい。・「おすすめの本紹介カードの募集・展示」など市民参加型の企画は今後も継続し発展させられないだろうか。・点字体験広場は、実際に点字作業を行うことによって図書館利用に障害のある人へのサービスを市民に知つてもらえる機会となるので、今後も積極的に取組んでほしい。・大イベントも必要だが、普段の児童サービスを知つてもらうための機会として、ストーリーテリング(お話)や読み聞かせ、ブックトーク、科学あそびなどを行うことも必要であったのではないか。・これを50周年の時だけのものにせず、きっかけとして図書館利用者を増やし、読書離れを食い止めるために、経験のフィードバックをして各図書館で取組みをぜひ継続してほしい。 |

事業の課題と改善策

【課題】

- ・市民参加型の企画を継続していく。
- ・日野市が全国に誇れる「図書館活動」をPRする。例えば普段の児童サービス、障害のある人へのサービスなど。

【改善策】

- ・開設50周年記念事業で実施した「おすすめの本紹介カード」のように、市民が本を紹介する取組みを検討する。読書会は平成28年度も継続するとともに、館内に市民のおすすめ本をPOPで飾る取組みなどを検討する。
- ・企画や普段の図書館活動のPRを行なう際には、チラシ、ポスターを工夫して作成するとともに、チラシ、ポスターを配布する場所をより多く確保する。また、プレスリリースも積極的に行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|-----------|---|
| 事業項目 | No.2 成人・高齢者サービス |
| 事業の概要 | 図書館開設50周年記念事業として、テーマ展示で浅田次郎氏の作品紹介を行う。また、それ以外の時期のテーマ展示は、来館する楽しみを増やす企画を行うために、多彩なテーマを特集し知的好奇心を刺激する。 |
| 事業の成果 | 図書館開設50周年記念事業のイベントである、市内在住作家・浅田次郎氏の講演会と連携し、浅田氏の作品紹介を行った(全館)。図書館の50年を振り返る資料展示も行う事ができた(全館)。各館の企画による展示では、オリンピック・パラリンピックの特集(中央)や、文学賞受賞作の紹介(三島由紀夫賞/山本周五郎賞・中央、芥川賞/直木賞・多摩平)、北陸新幹線開通(高幡)、世界遺産(高幡)、映画の原作紹介(平山)等々バラエティ豊かなテーマとした。また、昨年度に引き続いて担当課と連携した展示を行い、子育て支援(中央、高幡、日野)、平和(全館)、環境保護(全館)、自殺防止(中央、高幡、多摩平)に加え、認知症(日野、多摩平)と児童虐待防止(中央、多摩平、平山)について、イベントへの支援と市民へ情報提供を行うことができた。 |
| 図書館協議会の意見 | <ul style="list-style-type: none">・テーマ展示は、利用者に「新たな発見」をいざなう。また各課との連携が出来るので企画を進めてほしい。・テーマ展示のアイデアは、専門性が問われる。定番のテーマも含めて、他館と情報を共有し、企画を進めてほしい。・市内在住の作家浅田氏の講演や、作品紹介はアピール度が高く、参加者も多く良い企画だった。世の中の関心をくすぐり取るようなテーマを定め、テーマ展示をしてほしい。・コーナーを設置して終わりでなく、活動の成果の確認(設定テーマの適否、コーナーの活用状況等)をするなど、事後の分析・評価をきちんと行き次の活動に反映させることが望まれる。・あまり利用しない人、全く利用したことがない人の足を図書館に向けさせる企画を立て、それを普段図書館に関する情報には目がない人たちに知らせて興味を持って来てもらうという難しい課題を更に推進してほしい。 |
| 事業の課題と改善策 | <p>【課題】 テーマ展示は「新たな発見をいざなう」事業。その企画は市の担当課のイベントと連携した展示から分館での独自企画まで様々なものを扱うので、それぞれの館の展示内容をもっと広く利用者に周知する。 図書館の利用が有る無しに関わらず、不特定多数の市民に図書館の情報を提供する。</p> <p>【改善策】 「館報ひろば」や図書館のWebページを活用し、当月のテーマを、各館別のテーマ一覧として周知する。その他に「館報ひろば」や図書館のWebページだけでなく、人通りが多い駅前の様な場所で図書館の情報発信を行う。</p> |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|---|---|
| 事業項目 | No.3 各館での取組み(日野図書館) |
| 事業の概要 | 地域住民と共同で取組んでいる日野宿発見隊事業を更に充実させる。 |
| 事業の成果 | |
| 図書館開設50周年記念事業を日野宿発見隊として側面から支援する取組みを企画し実施した。移動図書館「ひまわり号」にまつわる展示や初代「ひまわり号」の特製缶バッジを独自に製作して、50周年記念のイベントで配布し、図書館の新たな出発に華をそえることができた。その他、恒例となった新選組まつりでの「スタンプラリー(参加者420名)」や「用水であそぼう」「まちかど写真館」等、地元に残るお宝を再発見し、地域の活性化につながる取り組みを展開した。 | |
| 図書館協議会の意見 | <ul style="list-style-type: none">・「地域づくり」の活動を評価する。今後も地域活性化につながる取組みの継続を望む。・今後に向けて市民に対して広く活動をアピールしたり、メンバーを拡充する必要があるのでは。・来館を待つだけでなく、図書館が出かけて積極的に市民に溶込む活動が秀逸。「地域住民と共同で」という姿勢が相乗効果をあげているのだろう。ひまわり号と並ぶ日野市立図書館の広告塔として内外にアピールすべき。・地域に結びついた図書館サービスの実施は大変貴重であり、日常的に市民とともに実施されていることが大変優れている。・地域との協働事業は図書館の存在を住民の意識に定着させる効果が高い。引き続き地域とのつながりというアプローチで図書館利用をPRしてほしい。 |
| 事業の課題と改善策 | <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・日野宿発見隊のメンバーを拡充していく。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域住民のほか市内の高校生や大学生の参加を促しメンバーの拡充を図る。 |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|-----------|---|
| 事業項目 | No.4 乳幼児・小中学生サービス |
| 事業の概要 | 第2次子ども読書活動推進計画の終了を受け、これまでの成果と課題を踏まえ第3次計画を市として策定するともに、計画に基づく新たな取組みを実施する。 |
| 事業の成果 | 平成27年度から平成31年度までの計画期間となる、第3次日野市子ども読書活動推進計画を市として策定した(主管課:図書館)。策定会議では各委員や子ども関連部署等と情報共有を行い、今後の課題や関連機関と連携した事業を検討することができた。策定と同時進行で行った新たな取組みとして、健康課と連携した「ママパパクラス」において、これから親になる方に向け、図書館からのPRやお子さんが生まれた後も図書館を親子で使っていただけるようにおはなし会の紹介や、リスト配布等を行った。これまでも、乳幼児健診などで利用案内やおすすめ本のリスト配布を行っており、合わせて継続していく。また、小中学校児童生徒(小学校は4~6年生、中学校は1~3年生)への読書調査を初めて実施し、結果を計画にも反映させることができた。現在の子どもたちの読書状況の把握に大いに役立ち、今後不読率の低下を目指していく指標となる。 |
| 図書館協議会の意見 | <ul style="list-style-type: none">・第3次計画の策定を評価する。読書調査は、第4次計画への比較や学校への働きかけの資料となるよう続けてほしい。・子どもたちが読書の楽しさと読書習慣を身に着けることは大変重要である。・各図書館に子どもが中に入りて読書がしたくなるようなスペースを作つても良いのではないか。・子どもが生まれる前から親子での図書館利用を意識させる「ママパパクラス」は、子どもが図書館に目を向ける良いきっかけになる。さらに対象年齢の継続性を指向して、小学1年生へも同じような活動をしていくはどうか。・ストーリーテリング(お話)や読み聞かせなどは子どもを読書の世界へいざなうために重要な手立てであり、児童図書館界では毎週実施することが基本と考えられている。・児童サービスを担う図書館職員の研修は、指導者・助言者として活躍できる人を養成する研修も視野に入れて行ってほしい。 |
| 事業の課題と改善策 | <p>【課題】 第3次日野市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児から青少年までの読書活動を支援する。また、これから親になる方へ親子での利用を意識してもらえるような取組みをし、子どもの成長に合わせた事業を継続していく。読書調査は今後も学校と連携し、現状の把握と子どもたちの不読率を下げる目標に向っていく。職員が児童サービスについての研修を積極的に受けられるようにし、今後の活動に役立てる。</p> <p>【改善策】 「ママパパクラス」で、親になる前の方に図書館利用を促していくとともに、乳幼児期から親子で読書やおはなし会を楽しんでもらい、小学校で行う(現状は小学3年生への図書館ガイダンス)図書館利用案内とPRに繋げていく。おはなし会や保護者・地域の方向けの読み聞かせ講座なども継続して行い、多くの子どもたちが本の楽しさに触れる機会を持てるように努めていく。</p> |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|--|---|
| 事業項目 | No.5 地域・行政資料(市政図書室) |
| 事業の概要 | 戦後70年平和事業の取組みとして、市政図書室が所蔵する歴史資料や市民著作の中から、日野市の戦時下的暮らしが掲載されているものをリスト化し、情報提供する。 他自治体の取組みを紹介した新聞記事等の情報を庁内の関係部署に提供する。 |
| 事業の成果 | |
| 「日野市の戦時下的暮らしがわかる資料リスト(2015年10月版)」を作成し配布した。多摩地域の図書館と博物館の職員の合同研修会「戦後70年を考える—戦争体験を次の世代に伝えるためにー」(平成28年11月17日開催)においても、資料リストを紹介し配布した。郷土資料館の企画展「平和の尊さを語り継ぐまち—戦後70年平和展ー」(平成27年10月10日～平成28年1月11日開催)の準備作業に、他自治体の取組みに関する新聞記事等の情報を継続して提供した。 | |
| 図書館協議会の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none">・市政図書室所蔵の歴史資料などの活用は大変良い。「リスト」作成は1冊1冊の内容確認から始まるので、その努力を評価し、他のテーマに広がることを期待する。日野市にとって貴重な資料になること必至である。・自治体職員、市議会議員及び市民ニーズの把握、庁内刊行物の収集と市民への公開・周知の方法の改善等、更に利用される市政図書室を構築する必要がある。・市内の他の図書館にもない史料的な図書もあることを積極的にPRして、日野市の歴史に興味を持たせるような企画の継続を望む。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・日野市の歴史と現在に関する資料の収集・保存・提供やレファレンスサービスについて、市民への周知・PRを推進する。・広く利用される市政図書室を目指して、収蔵資料とサービスの精査を行う。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・低書架の上をミニ展示コーナーとして活用し、日野市の歴史資料や市民著作、日野市が推進している施策等の特色ある蔵書を隨時紹介する。展示テーマに関する「リスト」を作成し、配布する。・市政図書室を更に利用していただけるよう、図書館のホームページや「館報ひろば」、「広報ひの」等で、市政図書室の蔵書やレファレンスサービスの紹介を定期的に行い、情報発信する。・庁内刊行物の市政図書室への納本を促し収集率を高め、市民に身近な資料として活用されるよう、広く公開する。 | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|-----------|---|
| 事業項目 | №6 青少年サービス |
| 事業の概要 | <p>青少年の読書活動を推進するために、市内の高校生・大学生からなる「ヤングスタッフ」事業を継続して実施する。「ヤングスタッフ」活動として、読んでほしい本の紹介イベント等を実施し、本の紹介や読書の楽しさを同世代に向けて発信する。</p> |
| 事業の成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館開設50周年記念事業「図書館まつり」(平成27年11月28日開催)において、初めて日野市立図書館主催の青少年を対象とするビブリオバトルを実施した(公募発表者6名、観客52名内青少年約13名、ヤングスタッフ6名)。ヤングスタッフは広報などの準備と当日の進行・受付を担当し、終了後は発表者と懇談した。 ・図書館開設50周年記念式典「浅田次郎氏講演会」(平成27年11月21日開催)のために、浅田次郎氏著作のおすすめのコメントを載せた小冊子を作成し、当日配布したほか各館でも配布した。(1, 500部作成) ・七生中学校図書委員会でブックトーク(一定のテーマで複数の本を聞き手に紹介する)を実施した(平成28年3月9日)。(中学生28名、ヤングスタッフ4名) ・青少年向けブックトークのイベント「BOOKパレード」を多摩平交流センター集会室で実施した(平成28年3月13日)。(参加者2名、スタッフ4名) ・実践女子大学常盤祭(平成27年11月7日～11月30日開催)でおすすめの本を展示した。 ・高幡図書館のヤング特設コーナーで、テーマによる図書を約3か月ごとに展示した。(テーマ: パステルカラー、寒色、画集・絵本、詩集・歌集、写真集) ・図書館50周年記念行事にヤングスタッフが参加することで、より多くの方にヤングスタッフの活動を知つてもらい、青少年とそれを取り巻く人々に、本や読書に対する関心をもつてもらうことができた。ヤングスタッフ自身も、いろいろな経験をすることができる面白さを感じ、活動に前向きに取組んだ。 |
| 図書館協議会の意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングスタッフとして、楽しみながら参加できるという体験は貴重である。「本の魅力」、「読書の楽しさ」を伝える活動を大人目線でやるのではなく、同世代が前面に出ることが大切と思うので、少しでも多くの若い世代が加わられる様努力を期待する。 ・学校の部活動で忙しい中・高校生も読書の楽しさを経験できる場を多く作ってほしい。 ・高幡図書館だけではなく、他の館でもヤングスタッフ活動をアピールするスペースを作れないか。また、各図書館にヤングアダルトコーナーがあった方がよい。 ・ヤングスタッフ事業はユニーク。日野市立図書館の特徴的活動として発展充実を望む。そのためには「青少年サービス」専任の担当者を置くこと、一部の青少年を対象としたクラブ的活動にとどまらず、広く一般の青少年に向けたサービスに発展させることができが肝要である。 ・大学祭の場を有効に活用して広く社会にアピールしてはどうか。 |
| 事業の課題と改善策 | <p>【課題】 同世代から同世代へ発信することの意義を重視し、スタッフ自身の「やってみたい」という思いを軸に、発信する活動の場を広げる。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校へ出向いてブックトークを行う機会を増やす。 ・大学の学園祭に参加し、ヤングスタッフの活動の幅を広げる。 ・高幡図書館以外の図書館でもヤングスタッフの展示コーナーを設ける。 |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|---|---|
| 事業項目 | No.7 学校支援 |
| 事業の概要 | 小中学校での調べ学習用資料として貸出を行う「学校搬送」サービスの拡大、充実を目指す。また、小学校の学級文庫を補うため配本する「本の森学級文庫」を拡大する。 |
| 事業の成果 | |
| 教諭からの依頼により行なった「学校搬送」の依頼件数は130件あった。平成26年度の107件から約20%増加し、広く周知されてきた。 また、「本の森学級文庫」の配本冊数の増冊を行った。平成26年度までは、小学校の各学年に約30冊を配本していたが、平成27年度は4~6学年への配本冊数を各学年約60冊と増冊した。(配本冊数合計／平成26年度 7,151冊、平成27年度 10,814冊) | |
| 図書館協議会の意見 | |
| ・司書教諭連絡会に図書館の職員が出席をして連携して活動していることは、良いことだと思う。社会科等の授業の一環として、図書館の見学・活用等の体験授業を実施できないか。 ・「教育課程の展開に寄与する」ことが学校図書館の目的である。本来の役割を学校図書館が遂行できるような支援こそ肝要である。 ・学校搬送の依頼が増えているということは、現場の需要に応えられているということ、更に教員の助けになるよう、蔵書の拡充を含めて対応を継続してほしい。「本の森学級文庫」についても、高学年のみならず全学年への配本数を増やすよう、取組みを継続してほしい。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| 【課題】 ・担当職員が不在の場合や学校からの借用依頼が重なった時に、迅速な対応できないことがある。また、同時期に似たようなテーマで資料の要求があるため、十分な冊数の資料を提供できないことが多い。このサービスの継続・拡充のための体制を検討していく必要がある。 また、当事業拡大のため、図書配本の拡充や配本以外での支援の充実を検討していく。 | |
| 【改善策】 ・学校からの各要望に迅速に対応できるよう事業にかかる職員体制を検討する。 ・図書館見学会の実施といった新たな取組みや職場体験事業(現ジュニアスタッフなど)の拡大を図る。 ・配本事業の更なる充実のため、「本の森学級文庫」は低・中学年への配本冊数を増やす。 ・今後も司書教諭連絡会に参加して情報を共有することで、よりよい支援を推進していく。 | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|---|---------------------------------------|
| 事業項目 | No.8 資料の選択・収集 |
| 事業の概要 | 学校図書館支援・子ども読書活動支援のための資料を、計画的に選択・収集する。 |
| 事業の成果 | |
| 小学校の学級文庫を補うため配本する「本の森学級文庫」搬送用に、司書教諭連絡会等での学校からの要望を考慮しながら、読書調査の結果もふまえて、児童サービス担当と検討を行ない、平成27年度は小学校4～5年生向けの図書を重点的に購入した。平成26年度に購入した図書と合わせ2年間で、特別支援学級向けの図書と、読書離れが進んだといわれる高学年向けの図書を増やすことができた。 | |
| 図書館協議会の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none">・特別支援学級向けの図書は、痛みが早いので、複本の充実と学校の要望を重視し選書してほしい。・小学生の読書実態・読書要求を十分に理解・把握した上での選択・収集であること、さらにその結果(「本の森学級文庫」の利用実態)をしっかり分析評価し次の取組みに反映させてほしい。・現在学校図書館支援は大変重要であるので支援をしながら、学校図書館(含学級文庫)独自の蔵書の充実、担当者の充実を図ることが第一(基本的に必要)であるので、教育委員会や校長会に学校図書館の充実を働きかけるなどの必要がある。・配本した図書が実際にどれくらい読まれたかを調査して読書の傾向を探ることで、よりニーズに合致した配本ができると思うので、引き続き調査、検討を深めて読書離れの歯止めを目指してほしい。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・「本の森学級文庫」は本の量だけでなく、内容についてもさらなる充実が求められている。学校(現場)の要望や子どもの実態を反映させた選書としていく必要がある。・事業開始から3年経過し、今まで購入した図書の買替え、保管場所拡大などの必要がある。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・特別支援学級向けの本を含め、「本の森学級文庫」用の本の状態を調査し、必要なものは買替えや複本の購入を行う。・配本された本の使用状況、要望などを把握するためのアンケート等を検討する。・図書館で購入した本の中で学校図書館で役立ちそうなものを学校へ紹介する。 | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|---|--|
| 事業項目 | No.9 各館での取組み(高幡図書館) |
| 事業の概要 | 保育園・幼稚園の図書館利用を促進する。 ①クラス単位で図書館に来館してもらい、自由に選んだ本の貸出をする。 ②園側の希望に応じ、おはなしの部屋を利用して絵本の読み聞かせなどの「おはなし会」を実施する。 |
| 事業の成果 | |
| ①図書館への来館・貸出 平成27年度は、3園(延べ34クラス)で317冊の貸出をした。(平成26年度は3園(延べ43クラス)で583冊を貸出) ②「おはなし会」の実施 2園からの希望により10回実施した。(平成26年度は1園10回) 園児たちも、図書館へ行くことを楽しみにしており、日常のお散歩コースとして図書館に立ち寄ってもらうことで、本や図書館に対する親近感を感じてもらう機会をつくることができた。 | |
| 図書館協議会の意見 | |
| ・保育園・幼稚園の利用を評価し、他の保育園・幼稚園への働きかけを進めてほしい。 ・来館した保育園・幼稚園の保護者へのPRを行い、一緒に来館してもらえる様な方法を検討してほしい。 ・図書館へ来られない園児への対応の工夫が必要である。 ・保育園・幼稚園のクラス単位での図書館の利用や「おはなし会」の実施は大変評価できる。 ・地域との連携は相手方があるので難しい側面があるが、何年か継続して取組み、信頼関係を築くことによって利用の向上に繋がる。「おはなし会」では、読み聞かせと共にストーリーテリング(お話)をすることが、読書へのいざないとなり重要である。 ・未就学の頃から図書館に馴染むことができる「おはなし会」はとても良い。園の立地、園児の年齢などで限度はあると思うが、できるだけ多くの園と園児が利用できるよう、積極的なPRと受入れを望む。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| 【課題】 ・幼稚園、保育園のクラス単位での来館や保護者の来館については、より多く利用してもらうような働きかけが必要である。 【改善策】 ・近くの園の先生とお話しできる機会を作り、積極的なPRをする。保護者へのPRについては、園のおたよりに載せてもらえるよう、おはなし会で紹介した本をカードに記入して園に渡せるようにする。 | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|-----------|--|
| 事業項目 | No.10 各館での取組み(多摩平図書館) |
| 事業の概要 | <p>これまで0・1・2歳児を対象におはなし会を実施していた日に合わせて、同日の午前10時～12時を平成27年度より「ひよこタイム」(毎月第2木曜日)とし、小さな子どもを連れた方が図書館に気軽に来館できるように配慮する。</p> <p>※ひよこタイム…乳幼児連れの方が気兼ねなく来館できる時間として、他の利用者に理解・協力を求める時間帯。</p> |
| 事業の成果 | <p>0・1・2歳児対象のおはなし会参加者が増加し、「ひよこタイム」は効果的に機能した。(参加者数 平成27年度: 子ども260人・おとな246人・合計506人 平成26年度: 子ども127人・おとな125人・合計252人 前年比200%)</p> |
| 図書館協議会の意見 | <ul style="list-style-type: none">新たに住民になった若い人々が多数利用されている図書館であるので、「ひよこタイム」の企画を通して、保護者へアピールできていることを評価する。利用者の増を含め、「たよりになる図書館」を目指してほしい。(子どもスペースもあり)隣接の多摩平幼稚園の協力も得て、通いにくい子どもたちへバスを出すなどの対応の検討を望む。子ども連れ利用者、一般利用者の双方にとって良い取組みである。広く浸透、定着することで図書館の活動にとどまらず子育て支援等の副次的効果が期待される。現時点でも他の利用者の理解も進んでいるようだが、更に理解、協力が得られるようなPRを望む。 |
| 事業の課題と改善策 | <p>【課題】 「ひよこタイム」の実施により、実施日時には子ども連れの利用者が来館しやすい状況となり、結果的に、おはなし会の参加者が増加している。この状況を維持していく方策や他の利用者に理解を求める方法について考える必要がある。</p> <p>【改善策】 「ひよこタイムに」についての周知や理解を得られるように、館内へのポスター等の掲示や「ひよこタイム」PRのためのおはなし会参加者へのチラシ等の配布を行っていく。</p> |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|---|--|
| 事業項目 | No.11 各館での取組み(平山図書館) |
| 事業の概要 | <p>利用環境を整備し、利用しやすい図書館をめざす。</p> <p>①「ひよこタイム」の本格導入(平成26年12月から試行、平成27年4月から本格実施) ②児童書の充実 ③防水修繕工事の実施</p> <p>※ひよこタイム…乳幼児連れの方が気兼ねなく来館できる時間として、他の利用者に理解・協力を求める時間帯。</p> |
| 事業の成果 | |
| <p>①ひよこタイム…毎月第3木曜日午前実施、この時に乳幼児向けおはなし会開催(全11回 参加者数:子ども98人・おとな91人・合計189人。※試行中は全4回開催、参加者延べ数:子ども29人・おとな31人・合計60人)</p> <p>2階に子育て施設がある環境に伴い、乳幼児連れの来館が定着してきた。おはなし会の会場に、保護者向けの子育て関係の本も設置し、手に取られるよう工夫した。おはなし会終了後も、親子で本を見てくつろげるよう心がけた。</p> <p>②年間図書費の配当が約10万円増額(総額約365万円)となり、特に児童書の基本図書の補充や古くなった図書の更新をし蔵書の充実に努め、手に取られやすくした。</p> <p>③大雨時の床上浸水が大きな懸案であったが、防水修繕を行い利用環境を向上させることができた。(H28年3月竣工)</p> | |
| 図書館協議会の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none">・「ひよこタイム」の実施、蔵書の更新を評価する。引き続き参加者が増えるように取組み、他の利用者の理解、協力も一層得られるようなPRをお願いしたい。児童書の充実も、地域に積極的にPRして更なる利用促進を図ってほしい。・公共施設の少ない地域であるので図書館の存在をもっとPRしてほしい。・駅前立地及び子どものスペースもある図書館なので、平山季重ふれあい館全体で協力して親子の活動も工夫してほしい。・プラウジングコーナーは常時多くの人が利用しているように見受けられる。その人たちが本に興味を持ち手に取り、貸出しにつながるような企画や展示の工夫が必要では。・複合施設としての特徴をいかした活動が成果をあげている。地域に溶け込む一つの方策として注目したい。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| <p>【課題】 乳児から高齢者まで、多くの人が来館する複合施設の特徴を生かし、さまざまな目的で来館した方々が、図書館があることで知識欲・読書欲をかきたて、問題解決にも気軽に立ち寄り、満たされるような図書館活動を開催する。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・知識や読書への関心をいざなう、図書展示等の企画を拡充する。・館内の子育て支援施設との連携を継続し、乳幼児やその保護者が読書や図書館に親しむ環境を推進する。 | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|---|--|
| 事業項目 | No.12 各館での取組み(移動図書館) |
| 事業の概要 | 移動図書館「ひまわり号」は、日野市の図書館のシンボル的存在であり、広告塔としての役割も担っている。移動図書館「ひまわり号」や図書館PRのため、市内で開催されるイベント等に積極的に参加する。 |
| 事業の成果 | |
| 図書館PRのため、明星大学の学園祭「星友祭」(平成27年10月31日開催)に参加した。会場では図書の貸出のほか、移動図書館「ひまわり号」の写真パネル展、移動図書館「ひまわり号」の紙模型工作等を行った。またメディアでもその活動を取上げられる等、多くの場面で移動図書館「ひまわり号」のみならず、日野市の図書館のPRに効果をあげることができた。 | |
| 図書館協議会の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none">・「動く図書館」の動くという長所を活かしたサービスを進めてほしい。・「ひまわり号」は、日野市図書館のシンボル的存在。引き継ぎ図書館PRのためにも利用者のためにも継続を望む。・交通の便が悪い地域の住民サービスや、団体貸出しに対して一定の役割を果たしている。また、日野市の図書館の原点としてPR活動に役立っている。・幼稚園・保育園への団体貸出し、各種イベントへの参加等々、その活動は目覚しいものがある。・「ひまわり号」を実践女子大学図書館との相互連絡会を通して常盤祭にも参加し、貸出サービスやPR等をして日野市の図書館の利用促進につなげるとよい。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・団体及び個人貸出の貸出冊数がやや減少している。利用促進のための積極的なPR活動や巡回方法の見直しにより、利用増に繋げる。・PR活動の一つとして初めて大学の学園祭に参加をしたが、今後も新たなサービスへの取組みを進めていく必要がある。 | |
| <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・個人貸出について、町丁別に人口の変動を調査し、巡回時間や統廃合も含めたサービスポイントの見直しを検討する。団体貸出は巡回回数の増を視野に入れ巡回施設との協議を行う。・市内で行われる各種イベントや市内にある高校や大学と連携を図り、イベントや学園祭へ参加する等日野市立図書館全体のPRを行う。 | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|-----------|---|
| 事業項目 | No.13 障害者サービス |
| 事業の概要 | 録音図書作成等のための音訳者について、新たな人材を確保し、高齢化の解消や増加するリクエストへ対応するための体制を整えるとともに、音訳者全員の技術向上を目指す。 |
| 事業の成果 | |
| | 平成18年度以来9年ぶりに録音図書作成等のための音訳者を募集し、新規音訳者19名を確保できた。選考合格者に初級講習会を実施し、平成28年1月より活動を開始している。これにより、音訳者の高齢化が解消され、増加するリクエストへ対応するための体制が整った。また、全音訳者に中級講習(全3回／毎年開催)を実施し、さらに個別講習を強化して、全体の技術向上を図った。 |
| 図書館協議会の意見 | |
| | <ul style="list-style-type: none">・音訳者のレベルアップのための努力をし、他市との講習会の共同開催や派遣等を検討はできないか。・音訳者の人材確保は大変良い取組みである。さらに利用者が増えるようにPRなど改善すべきである。・体が不自由な人に本を届けるサービスを行っているようだが、市内の高齢者施設などに団体貸出しのニーズはあるのではないか。・サービスの実績データがきちんとまとめられており、問題点は明確である。更なる活動の展開に期待する。・音訳者の人数確保、技術の維持という面では、今後も音訳者の高齢化、引退が見えていると思うので、途切れないと人材発掘、講習の継続をしてほしい。 |
| 事業の課題と改善策 | |
| | <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・音訳者の適正人員の維持と技術の向上。・サービスを必要としているながら、情報がなく利用していない人へのPR。・高齢者施設に入居している個人への宅配は実施しているが、利用者が少ない。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・講習会や個別講習を恒常的に実施する。また、将来を見据え、音訳者の募集計画を立てる。・日野市独自の質の高い音訳の提供を目指していく。・障害福祉課との連携を深めるとともに、障害者施設への直接の働きかけを増進する。・高齢者施設への図書館利用の案内方法について検討する。 |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|---|--|
| 事業項目 | No.14 予約・リクエスト・相互貸借 |
| 事業の概要 | 利用者からの予約・リクエストについて、確実に資料を提供し、サービスの向上を図る。 |
| 事業の成果 | |
| 平成27年度は、462, 445冊の予約・リクエスト資料を提供した。この内、都立や他の市区町村立図書館等からは、9, 365冊を借用した。リクエストを受けた資料の中で、271冊は、選書の対象にしていないマンガ等であったため提供ができなかった。提供ができなかった資料については、代替え資料の案内を行い対応した。 購入か借用かの判断の際は、収集方針に基づき、かつ他の利用者からのリクエストにも備えられるよう検討し、迅速な判断に努めた。 | |
| 図書館協議会の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none">・毎年増加する件数への確実な対応ができていることを評価する。・迅速な判断と、利用者とのコミュニケーションに努力してほしい。・利用者の予約・リクエスト対応は基本業務だが、「自動受取り・返却」など機械化できるものは導入しその分他の業務に振分けてもよいのではないか。・市内利用者の希望は市内の図書館で対応できるよう、基準を外れていなければ即購入する対応をすれば、利便性が上がる。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| <p>【課題】 リクエストの提供率の維持を継続できるように努めるとともに、提供方法についてさらなる改善が求められている。</p> <p>【改善策】 所蔵していない資料のリクエストについては、利用者の要望や図書館蔵書構成を考慮しながら、購入または借用を決定し、速やかに提供できるよう努める。提供ができない場合は、引き続き代替え資料の案内をしていく。</p> | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|--|--|
| 事業項目 | No.15 レファレンスサービス |
| 事業の概要 | レファレンス室を多くの人に活用してもらえるよう、レファレンスサービスの内容を具体化してPRする。 |
| 事業の成果 | |
| <p>1階開架室でレファレンスをテーマに図書展示を行った(平成28年1月5日～2月2日)。普段レファレンス室やレファレンスサービスになじみのない青少年にも手に取ってもらえるよう、児童書もおりませ、自分自身の課題解決に役立つ本をメインに展示した。併せて、レファレンス事例の紹介も行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・目立たない本を手に取ってもらうきっかけを作ることができた。・オンラインデータベースの利用案内を作成し、全館で配布を開始した(平成27年11月4日より)。・レファレンス事例の紹介から発展して、地域の歴史と産業をPRする「TOYODA BEER」のミニ展示(平成28年2月2日～3月20日)へと繋げることができた。 | |
| 図書館協議会の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none">・1階のカウンターで受けた質問や他館で受けた質問等の事例蓄積と、「TOYODA BEER」の様に日野市をアピールできる努力をしてほしい。・機械化で省力化できる分をレファレンスサービス業務の充実に変更できないか。・電子申請レファレンスサービスの存在を知らなかった。広く市民に広報をする必要がある。・ネット検索全盛の現代だからこそ、ネットでは不可能な「人」による「人」への直接サービスを追及してほしい。「TOYODA BEER」のミニ展示」はレファレンスサービスを発展させた試みとして注目に値する。・中央図書館では、レファレンスサービス実績としてここ2、3年ほぼ変わらないため2016年度も引き続きPR等を実施すべき。また、高幡・多摩平の両図書館では減少しているので、こちらの図書館でも実施することが必須である。図書館を利用したことがない市民には、「レファレンスサービス」というものが全く知らない。図書館内や既に図書館を利用している人ではなく、むしろ縁遠い人の目を向けさせる方法と内容を考えてPRすると良い。特に小学生の夏休みの自由研究対策など、時期前に学校を通して保護者にPRするなどで興味を持たせることができないか。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| <p>【課題】 テーマ展示を通してレファレンスサービスの紹介を行ったが、普段図書館を利用しない市民や、児童への紹介が課題として残った。また、電子申請レファレンスサービスについても利用が少なく、市民への周知ができていない。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・新たなPR方法の検討を進めながら、継続してレファレンスサービスをPRする。・児童の利用につながるよう児童担当とも連携を取る。・分館におけるレファレンスについてのテーマ展示を検討する。 | |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|-----------|---|
| 事業項目 | No.16 各館での取組み(中央図書館) |
| 事業の概要 | 施設設備や利用環境の更新や見直しを行う。老朽化・経年劣化の問題や、限られたスペースの有効利用を再検討し、本格的リニューアルまでの利便性向上を図る。 |
| 事業の成果 | <ul style="list-style-type: none">・劣化した椅子や落書きの目立つ机の入替をし、滞在性を向上させた。・「館報ひろば」に3回「レファレンス室だより」を掲載し、レファレンス室のPRを行った。・地下にある書庫スペースが不足していたが、棚の配置変更等で収納力を向上させたほか、保存する資料と廃棄する資料の見直しを行い、見つけやすく取出しやすい書庫へ構成しなおした結果、資料の取出しに素早い対応が可能となった。 |
| 図書館協議会の意見 | <ul style="list-style-type: none">・館内環境を良くしたことを評価し、「レファレンス室だより」のPRも評価する。・中央図書館独自の運営に加え、市内全図書館をサポートする活動(ネットワークなど)及び市内外の図書館との連携が必要である。・建物の内外の劣化が目立つ。今後大規模修繕が必要になると思うが、椅子や机の配置を工夫して滞在性を向上する必要がある。汚れていた椅子が一部でも新しくなり良かった。・二階の入り口にある就職関係の展示は、ほとんどの人が気が付かず、利用されていないのではないか。・自動貸出し機などの導入で、省力化できないか。・椅子などの設備を新調、修理したことでき心地が良くなったことを、もっと市民に広くアピールしたほうがよい。書庫の見直しについては、利用者に見えないことであるが評価する。仮に将来建替てもスペースに限りがあることは変わらないので、収納、整理の工夫を引き続き行って情報を引出しやすい状態を維持してほしい。 |
| 事業の課題と改善策 | <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・館内環境の更なる向上をめざす。・就業支援コーナーのPRを行い、認知度向上が必要。・収納・整理は継続させ、資料の活用に支障が出ない環境維持に努める。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・空調機器の修繕を行い、冷暖房能力の確保を行う。・利用促進のPRを行うとともに、「しごと情報コーナー」の刷新を検討する。・所在データの信頼性を向上させるため、蔵書点検を適切に実施する。 |

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

| | |
|--|-------------------------------------|
| 事業項目 | No.17 各館での取組み(百草図書館) |
| 事業の概要 | 経年劣化が進んでいる施設設備の改善を行い、利用しやすい図書館を目指す。 |
| 事業の成果 | |
| <p>以前からの懸案事項であった空調設備(天井からホースを伸ばし水もれに対応しているような状況)を修繕し、快適な読書環境を利用者に提供することができるようになった。</p> <p>工事のための休館中は、1階に仮のカウンターを設置し、貸出、返却、予約本の取り置きを行った。2階に図書館があるため今まで入口がわかりづらかったが、この対応により、図書館の存在に新たに気付く方がいて、PRの機会にすることができた。また、百草図書館の近くに臨時の「ひまわり号」の巡回場所を設けて3回の巡回を行い、48冊16人の利用があった。</p> <p>トイレの修繕や閲覧用ソファの一部入替え等を行ったことで、かねてからの苦情が止まり以前より利用しやすい環境を提供できた。</p> | |
| 図書館協議会の意見 | |
| <ul style="list-style-type: none">・休館中の対応を評価し、環境改善が出来、利用者に喜ばれた対応も評価する。・利用者が不安、不満を感じないように、今後も施設、設備の改修について細かい対応を望む。また、改修して快適になったことを積極的に地域にPRして利用者増を狙ってほしい。 | |
| 事業の課題と改善策 | |
| <p>【課題】 百草図書館が更に地域の方々に利用しやすい図書館となるようアピールするとともに、今後も快適な読書環境を提供できるように、施設管理運営上、細かなことにも配慮していく。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none">・平成28年度に新しくソファーの入れ替えを行う。・建物の2階にある図書館へ市民をいざなうことができるよう、1階入り口近くに図書館をPRするサインを掲示する。・図書館内だけでなく廊下や階段など、不快な汚れがないよう心がける。 | |

I. 図書館事業のあらまし

(1) 蔵書状況(蔵書数)

① 図書

| 区分 | 蔵書冊数 | 年間受入冊数 | 年間除籍冊数 |
|------|---------|--------|--------|
| 成人図書 | 636,107 | 26,459 | 19,300 |
| 児童図書 | 169,556 | 11,652 | 9,180 |
| 計 | 805,663 | 38,111 | 28,480 |

② CD・ビデオ等

| 資料名 | 保有数 |
|---------|-------|
| CD | 4,505 |
| カセットテープ | 515 |
| DVD | 172 |
| ビデオソフト | 540 |
| 計 | 5,732 |

③雑誌・新聞

| 図書館名 | 購読新聞 | 雑誌 | | |
|--------|------|-----|----|-----|
| | | 購入 | 寄贈 | 合計 |
| 中央図書館 | 16 | 218 | 50 | 268 |
| 高幡図書館 | 10 | 123 | 3 | 126 |
| 日野図書館 | 6 | 91 | 1 | 92 |
| 多摩平図書館 | 9 | 168 | 2 | 170 |
| 平山図書館 | 5 | 84 | 8 | 92 |
| 市政図書室 | 14 | 66 | 47 | 113 |
| 百草図書館 | 7 | 107 | 2 | 109 |
| 移動図書館 | 0 | 46 | 0 | 46 |

(2) 利用者数・貸出点数

① 利用登録者数

| 成人 | 児童 | 計 | 登録率 |
|--------|-------|--------|--------|
| 32,329 | 5,810 | 38,139 | 20.87% |

※登録率は、登録者数を3月1日の総人口で除して算出

② 延べ利用者数、開館日数

| 館名 | 延べ利用者数 | 開館日数 |
|--------|---------|------|
| 中央図書館 | 79,727 | 315 |
| 高幡図書館 | 95,239 | 315 |
| 日野図書館 | 66,907 | 315 |
| 多摩平図書館 | 137,491 | 315 |
| 平山図書館 | 49,982 | 315 |
| 市政図書室 | 5,369 | 294 |
| 百草図書館 | 35,923 | 315 |
| 移動図書館 | 3,633 | — |
| 計 | 474,271 | — |

③ 個人貸出点数

| 区分 | 成人図書 | 児童図書 | CD・ビデオ | 計 |
|--------|-----------|---------|--------|-----------|
| 中央図書館 | 208,095 | 85,056 | 878 | 294,029 |
| 高幡図書館 | 225,142 | 85,074 | 548 | 310,764 |
| 日野図書館 | 163,507 | 86,420 | 525 | 250,452 |
| 多摩平図書館 | 334,208 | 146,655 | 10,733 | 491,596 |
| 平山図書館 | 115,119 | 39,832 | 396 | 155,347 |
| 市政図書室 | 12,200 | 2,797 | 200 | 15,197 |
| 百草図書館 | 83,395 | 32,765 | 2,782 | 118,942 |
| 移動図書館 | 12,837 | 8,980 | 9 | 21,826 |
| 計 | 1,154,503 | 487,579 | 16,071 | 1,658,153 |

④ 移動図書館・駐車場別貸出数

| 駐車場名 | 貸出冊数 | 駐車場名 | 貸出冊数 | 駐車場名 | 貸出冊数 |
|-------------|-------|---------------|-------|-----------------------------|--------|
| シティハイツ日野旭が丘 | 3,481 | 新井わかたけ公園 | 1,302 | 貉谷戸公園 | 639 |
| 西平山第1公園 | 1,393 | さいかちぜき公園 | 637 | 万願寺中央公園 | 1,021 |
| 緑ヶ丘公園 | 976 | 大坂西公園 | 367 | ちょうまんぴら公園 | 753 |
| 市営向川原団地 | 1,854 | 新坂下公園 | 1,398 | 七ツ塚公園 | 998 |
| 百草団地アポロ広場 | 1,268 | 都営日野栄町二丁目アパート | 570 | ※団体貸出し先で個人貸出…2冊1人 | |
| 水車公園 | 1,568 | 松風公園 | 862 | ※イベントで貸出し 6月 百草臨時…48冊16人 | |
| ほほえみ公園 | 651 | 南平丘陵公園 | 1,209 | 10月 明星大学学園祭…5冊2人 | |
| 小構コープ佐野前 | 311 | 万願寺渡西公園 | 513 | 貸出総冊数 | 21,826 |

以下の数字は合計貸出冊数から※分を差し引いた数値で算出。

| | | | | | |
|--------|---------|------------|-------|------------|----------|
| 駐車場数 | 20カ所 | 延べ巡回回数 | 469回 | 一駐車場平均貸出冊数 | 1,088.6冊 |
| 年間利用者数 | 3,614人 | 一駐車場平均巡回回数 | 23.5回 | 一駐車場一巡回当たり | |
| 貸出冊数 | 21,771冊 | 平均利用者数 | 7.7人 | 平均貸出冊数 | 46.4冊 |

⑤ 移動図書館による団体貸出

| | 病院・施設等 | 保育園 | 幼稚園 | 学童クラブ | 計 |
|-----|--------|-------|-------|--------|--------|
| 団体数 | 1 | 18 | 6 | 27 | 52 |
| 冊数 | 331 | 5,487 | 2,436 | 12,951 | 21,205 |
| 巡回数 | 12 | 54 | 18 | 81 | 165 |

⑥京王線沿線7市図書館連携事業

| | | |
|--|-------|---------|
| 日野市民の他市図書館利用 | 新規登録者 | 貸出冊数 |
| | 688人 | 73,136冊 |
| 他市市民の日野市立図書館利用 (八王子・府中・調布・町田・多摩・稲城) | 新規登録者 | 貸出冊数 |
| | 610人 | 58,586冊 |

(3) リクエストサービス(処理件数)

| | 図書 | | | 雑誌 | | | 視聴覚 | 合計 |
|-------------------------------|---------|-------|---------|--------|-----|--------|-------|---------|
| | 所蔵 | 借用 | 小計 | 所蔵 | 借用 | 小計 | 所蔵 | |
| 中央図書館 | 15,142 | 1,437 | 16,579 | 1,744 | 130 | 1,874 | 233 | 18,686 |
| 高幡図書館 | 15,906 | 2,115 | 18,021 | 1,076 | 104 | 1,180 | 44 | 19,245 |
| 日野図書館 | 9,676 | 816 | 10,492 | 880 | 59 | 939 | 55 | 11,486 |
| 多摩平図書館 | 16,594 | 2,697 | 19,291 | 1,288 | 151 | 1,439 | 249 | 20,979 |
| 平山図書館 | 7,868 | 729 | 8,597 | 851 | 120 | 971 | 37 | 9,605 |
| 市政図書室 | 857 | 170 | 1,027 | 137 | 25 | 162 | 9 | 1,198 |
| 百草図書館 | 5,003 | 650 | 5,653 | 330 | 44 | 374 | 144 | 6,171 |
| 移動図書館 | 886 | 116 | 1,002 | 30 | 2 | 32 | 0 | 1,034 |
| O P A C | 28,477 | | 28,477 | 3,372 | | 3,372 | 395 | 32,244 |
| W E B (注1) | 306,157 | | 306,157 | 33,040 | | 33,040 | 2600 | 341,797 |
| 合 計 | 406,566 | 8,730 | 415,296 | 42,748 | 635 | 43,383 | 3,766 | 462,445 |
| 上記受付数中、 電子申請(注2) による受付数 | | | 2,035 | | | | | 2,035 |

注1) 図書館のホームページを使ったリクエスト

注2) 東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

| 区分 | 日野市 関係 | 多摩・東京 関係 | 地方行政 関係 | 一般 主題 | 計 |
|--------|-----------|-------------|------------|----------|-------|
| 中央図書館 | 93 | 21 | 0 | 500 | 614 |
| 高幡図書館 | 12 | 8 | 0 | 220 | 240 |
| 日野図書館 | 28 | 6 | 0 | 129 | 163 |
| 多摩平図書館 | 6 | 1 | 0 | 184 | 191 |
| 平山図書館 | 32 | 5 | 0 | 361 | 398 |
| 市政図書室 | 812 | 110 | 170 | 96 | 1,188 |
| 百草図書館 | 2 | 0 | 0 | 52 | 54 |
| 計 | 985 | 151 | 170 | 1,542 | 2,848 |

② コピーサービス

| 館名 | カラー枚数(枚) | 白黒枚数(枚) | 調定済金額(円) |
|--------|----------|---------|-----------|
| 中央図書館 | 928 | 34,144 | 378,560 |
| 高幡図書館 | 1,056 | 20,825 | 250,490 |
| 日野図書館 | 612 | 9,894 | 123,420 |
| 多摩平図書館 | 2,008 | 16,118 | 241,500 |
| 平山図書館 | 753 | 10,979 | 139,910 |
| 市政図書室 | 343 | 9,216 | 105,880 |
| 百草図書館 | 703 | 5,925 | 87,370 |
| 計 | 6,403 | 107,101 | 1,327,130 |

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

| 会場 | 開催日 | 回数 | 参 加 人 数 | | | | |
|--------|--------------------------|----|---------|-----|-----|-----|-----|
| | | | 0才 | 3才 | 小学生 | 小計 | 大人 |
| 中央図書館 | 毎月第2木曜日 夏休み1回(8月12日) | 12 | 126 | — | — | 126 | 119 |
| | 毎月第4水曜日 夏休み1回(8月27日) | 12 | — | 64 | 20 | 84 | 56 |
| 高幡図書館 | 毎月第1・3水曜日 夏休み1回(8月5日) | 23 | 129 | 115 | 67 | 311 | 209 |
| 多摩平図書館 | 毎月第2木曜日 夏休み1回(8月13日) | 12 | 260 | — | — | 260 | 246 |
| | 毎月第4水曜日 夏休み1回(8月26日) | 12 | — | 97 | 48 | 145 | 84 |
| 平山図書館 | 毎月第3木曜日 夏休み1回(8月20日) | 11 | 98 | — | — | 98 | 91 |
| 百草図書館 | 毎月第4金曜日 夏休み1回(8月28日) | 11 | 15 | 16 | 12 | 43 | 26 |

※百草図書館の6月のおはなし会は、空調工事のためにお休み

※平山図書館の7月のおはなし会は、台風のため中止

※おはなし会の開始時間

0～2歳児 午前10時30分～ (中央、多摩平、平山)

午後3時～ (高幡、百草)

3歳～ 午後3時30分～

小学生以上 午後4時～

(保護者向け本の紹介)

| 会場 | 開催日 | 参加人数 | | |
|--------|--------|------|----|----|
| | | 子ども | 大人 | 合計 |
| 中央図書館 | 10月29日 | 0 | 7 | 7 |
| 高幡図書館 | 4月30日 | 0 | 11 | 11 |
| 多摩平図書館 | 5月29日 | 7 | 34 | 41 |
| 百草図書館 | 10月30日 | 0 | 4 | 4 |

(出張おはなし会)

| 訪問先 | 合計回数 |
|--|------|
| 15施設（保育園・子育てひろば・児童館・学童クラブ・小学校・子ども家庭支援センター） | 28 |

② 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の3年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本の読みきかせ・昔話の語り等を行っている。

| 月・日 | 学校名 | 月・日 | 学校名 |
|-------|---------|--------|---------|
| 5月21日 | 仲田小学校 | 6月19日 | 日野第三小学校 |
| 5月29日 | 日野第八小学校 | 9月11日 | 日野第七小学校 |
| 6月4日 | 滝合小学校 | 10月16日 | 平山小学校 |
| 6月4日 | 夢が丘小学校 | 10月23日 | 東光寺小学校 |
| 6月11日 | 南平小学校 | 12月3日 | 豊田小学校 |
| 6月12日 | 日野第一小学校 | 12月10日 | 潤徳小学校 |
| 6月12日 | 七生緑小学校 | 1月28日 | 日野第五小学校 |
| 6月18日 | 日野第四小学校 | 3月11日 | 旭が丘小学校 |

③ 調べ学習のための資料紹介

子どもたちが学校の調べ学習のために使う資料を図書館で紹介・貸出している。

④ 学校へ貸出・搬送(学校搬送便)

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

| | | |
|---------|-----------|-------------|
| 小学校 13校 | 搬送回数 120回 | 貸出冊数 4,950冊 |
| 中学校 4校 | 搬送回数 10回 | 貸出冊数 318冊 |

⑤ 「本の森」学級文庫配本

子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

| 回 数 | 貸出冊数 |
|---------|----------|
| のべ 51 回 | 10,814 冊 |

⑥ 中学生の職場体験学習

| 行事名 | 開催日 | 実施館 | 備 考 |
|------|-----|--------------------|-----------------|
| 職場体験 | 随時 | 中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草 | のべ 14 校 33 人 |

⑦ ジュニア・スタッフ(中学生)

夏休みに図書館の仕事を体験したり、図書館ホームページやO P A C (オパック=蔵書検索パソコン) の使い方を学ぶジュニア・スタッフ事業を行っている。

| 開催日 | 実施館 | 人数 |
|---------------------------|-----------------|--------|
| 7月下旬と8月上旬の4日間 (中央は2日間) | 中央・高幡・日野・多摩平・平山 | 計 32 人 |

⑧ 施設見学

| 行 事 名 | 開催日 | 実施館 | |
|-----------|-----|--------------------|------|
| 小・中学校施設見学 | 随時 | 中央・高幡・日野・多摩平・平山・百草 | 11 校 |
| 保育園・幼稚園来館 | 随時 | 中央・高幡・平山 | 3 園 |

⑨ 市立幼稚園・保育園等への配本

幼稚園・保育園に対し、年齢に見合った図書を選定・配本し、読書活動の推進を図っている。

| | | |
|--|-----------|--------------|
| 幼稚園 5 園 保育園 11 園 子育て関連施設 2 か所 児童館 9 館 | のべ配本 53 回 | 配本冊数 2,890 冊 |
|--|-----------|--------------|

⑩ 健康課主催ママパパクラスにて図書館案内と関連図書紹介

| 開催日 | 会 場 |
|---------|-----------|
| 3 月 7 日 | 生活・保健センター |

⑪ 青少年読書活動事業 「ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。

公募により、大学生・高校生スタッフ13人が参加。

| 行 事 名 | 開 催 月 日 | 備 考 |
|---------------------------|------------------------|---|
| 市内大学連携事業「実践女子大学常盤祭」展示 | 27. 11. 7 27. 11. 8 | 会場 実践女子大学 図書室 紹介本展示 スタッフ作成リスト配布 |
| イベント「ビブリオバトル2015」 | 27. 11. 28 | 日野市立図書館50周年行事「図書館まつり」の中で、ビブリオバトルを運営 スタッフ6人 参加者52人 |
| イベント「ブックトーク in 日野市立七生中学校」 | 28. 3. 9 | 図書委員会の時間を借り図書委員に向けブックトーク実施。 スタッフ4人 参加者28人 |
| イベント「BOOKパレード」 | 28. 3. 13 | 多摩平の森ふれあい館2階集会室において、ブックトーク実施 スタッフ4人 参加者2人 |

(6) 障害者サービス

① 利用登録者数

| 個人 | 団体 |
|-----|----|
| 171 | 8 |

② 音訳・点訳登録者数

| 音訳者数 | 点訳者数 |
|------|------|
| 46 | 10 |

③ 対面朗読

| 件 数 | 延べ時間 | 延べ音訳者数 |
|-----|-------|--------|
| 167 | 483.5 | 328 |

④ 資料数・貸出数

| | 録音図書 テープ | 録音図書 DAISY | 点字資料 | 拡大写本 |
|--------|-------------|---------------|-------|------|
| 作成タイトル | 1 | 42 | — | 0 |
| 作成巻数 | 1 | 42 | — | 0 |
| 作成枚数 | — | — | 8,503 | 0 |
| 貸出タイトル | 128 | 4,938 | 768 | 0 |
| 貸出巻数 | 603 | 4,938 | 1,154 | 0 |

⑤ 宅配サービス

| | 利用者数 | 回数 | 貸出図書冊数 |
|-----------|------|-----|--------|
| 職員による | 21 | 110 | 1,001 |
| ボランティアによる | 13 | 101 | 455 |

※登録ボランティア 14人

⑥ 相互貸借

| | テープ図書 | | DAISY 図書 | | 点字図書 | |
|-----|-------|-----|----------|-------|-------|-----|
| | タイトル数 | 巻数 | タイトル数 | 巻数 | タイトル数 | 巻数 |
| 貸出数 | 3 | 32 | 870 | 872 | 534 | 536 |
| 借用数 | 111 | 550 | 2,705 | 2,738 | 170 | 425 |

⑦ 講習会

| 講習名 | 講師名 | 開催回数 | 開催場所 | 受講者 |
|------------|---------|------|-----------|-----|
| 音訳者講習会（初級） | 人見 共、職員 | 全11回 | 中央図書館 | 23人 |
| 音訳者講習会（中級） | 人見 共 | 全3回 | 多摩平交流センター | 40人 |

⑧ 出張点字授業

点字や視覚障害者についての理解を深めるため、市内小学校4年生のクラスを訪問している。

| 訪問日 | 学校名 | クラス数 |
|------------|--------|------|
| 10月20日・22日 | 潤徳小学校 | 3 |
| 12月9日 | 東光寺小学校 | 2 |
| 2月16日・24日 | 旭が丘小学校 | 3 |

Ⅱ. 日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日
制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

III. 図書館協議会委員名簿

| | | |
|------|--------|-------------------|
| 委員長 | 大杉 宏光 | 社会教育の関係者 |
| 副委員長 | 紺野 順子 | 学識経験者 |
| 委員 | 田中 ヒロ | 社会教育の関係者 |
| 委員 | 阪田 幸子 | 学校教育の関係者 |
| 委員 | 高橋 清吾 | 学校教育の関係者 |
| 委員 | 飯田 二美子 | 家庭教育の向上に資する活動を行う者 |
| 委員 | 岩本 和博 | 公募による市民 |
| 委員 | 木藤 創太 | 公募による市民 |
| 委員 | 田中 正昭 | 公募による市民 |

任期 自 平成26年4月15日
 至 平成28年4月14日

平成 28 年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(平成 27 年度事業)

くらしの中に図書館を

—市民に役立ち、共に歩む図書館—

平成 28 年 9 月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2

電話 042-586-0584